平成24年度(対23年度実績) 事務事									評	<u> </u>	西	表			作成	t 日 :	平成	24 <b>年</b>	5 月	24 日
部局名 産業活力部 所属名 農政課										所属	長名	山本	Z É	<b></b> 之一	電	話 48	83-1151	内線35	61	
1. 事務事業の位置付け・概要(PLAN)																				
<b>コード</b> 4096 <b>事務事業名称</b> 農業の郷整備事業															短縮	コード	経常		臨時	4096
予算区分	会計 01	一般会計		款	06 農林水産業費 項 01 農業費							目	03	農業						
区分	区 分																			
事業概	要(事務事業を	·開始したきっかけ	を含めて	記入)																
平成15年	農業を中心とした地場産業の振興及び都市と農村の交流の場づくりを目的とし、平成5年にやちよふれあいの農業の郷構想が策定された。 平成15年度に島田地区の水田再基盤整備が県営事業として事業化された事に併せ、郷構想の見直しを行った。 その後、平成22年度にまちづくり交付金事業として採択されたことにより、工事が開始された。																			
事務事	業を取り巻く状	況の変化 又、今	後の変化	この推測				6本	の柱	(章)		06	第6	6 章産業活力都市	をめざ	して				
		ちづくり交付金は 合交付金の基幹事					大項目(節)		(	01	第1節農業									
再生整視する。		して位置づけられて	ている。	今後も、	、国の施策に	"	総 中 項			(	01	1.	農業	業						
						] []	計 画													
						力	の 施	小耳		目	(	05	(5)	市民とふれあう農	:業の推	<u></u>				
						1	策    体 					01	① <sub>†</sub>		 流促進					
								細	項	項目		02	②体	ぶ験型農業の推進						
										画の	, 60	6095 やちよふれあい		っよふれあいの農業	の農業の郷整備事業					
								計	画	事業										
計画事業の位置付けの有無 □ 計画事業期間 ~ 計画事業費 千円											円									
2. 事務事業の目的・指標・実績(DO)																				
対象 市民(農家,都市住民),観光者 (誰を何を対象にし																				

対象 (誰を何を対象にし ているのか)	市民(農家,都市住民),観光者
手段 (具体的な事務事業 のやり方、手順、詳 細)	※平成23年度に実際に行ったこと: 市道島田台・平戸線、桑納4号線改良工事及び(仮称)観光交流センター進入路工事 (仮称)やちよふれあいの農業の郷観光交流センター建設(建築)工事  ※平成24年度に計画していること: (仮称)やちよふれあいの農業の郷観光交流センター建設(建築)(土木)(機械設備)(電気設備)工事 ふれあいの森、広場等整備工事
意図 (何を狙っているの か)	農業を中心とした地場産業の振興及び、都市と農村の交流の場づくりを目的とし、整備を進める。
ねらい(上位施策の 意図)	入力対象外
	0.05 - 0.05 - 0.05 - 0.05

区分			単位	2 2 年度	2 3 3	2 4 年度	
				実績	計画	実績	計画
	指標 1	住民数	人	193, 274	196, 400	192, 884	199, 500
対象指標	指標 2						
	指標3						
	指標 1	施設整備計画面積	m²	12, 536	12, 536	12, 536	12, 536
活動指標	指標 2						
	指標3						
	指標 1	施設整備完了面積	m²	0	0	0	12, 536
成果指標	指標 2						
	指標3						
	指標 1						
上位成果指標	指標 2						
	指標3						

<b>⊐</b> -	- <b>F</b> 4096	事務事業	<b>美名称</b>	<b>所属名</b> 農政課				
単位				2 2 年度	2 3	2 4 年度		
40			丰匠	実績	計画	実績	計画	
		国	千円	21, 040	30, 300	36, 394	65, 087	
		県	千円	0	0	0	0	
	財源内訳	地方債	千円	35, 800	69, 200	34, 500	154, 000	
_		一般財源	千円	99, 186	74, 941	46, 631	344, 591	
事業		その他	千円	0	0	40, 116	0	
費 (A)	主な事業費の内訳			不動産鑑定手数料729千円 ふれあいの農業の郷実施設計委 託 5,699千円 市道島田台・平戸線道路改良工 事 33,500千円 ふれあいの農業の郷用地取得	市道改良工事60,000千円 進入路工事36,000千円 建築工事71,796千円	市道改良・進入路工事41,200千円 理築工事28,000千円 電気工作物移設補償金1,229千円	橋梁実施設計26,000千円 観光交流センター 建築工事309,992千円 土木工事82,450千円 ふれあいの森,広場工事 38,100千円	
人件費(B) = 1			千円	17, 816. 4	36, 705. 6	39, 797. 9	49, 342. 5	
トータルコスト(A)+(B) =			千円	173, 842. 4	211, 146. 6	197, 438. 9	613, 020. 5	

## 3. 事務事業の評価(SEE)

3.	事務事業の評価(SEE)								
評価 類型	評価事項	評価区分	理由						
		☑ 結び付いている	この事業は、農業の振興及び都市と農村の交流の場づくりを目的としており、上位施策である「市民とふれあう農業の推進」を図るための事業である。						
	①事業目的が上位の施策に結びつ	□ 結び付くが見直しの余地がある							
	いているか?	□ 結びつきが弱い・ない							
		□ 評価対象外事項							
		□ 達成している	事業未完了のため、目的を達成していない。						
	②すでに所期目的を達成しているか?	☑ 達成していない							
目的妥业	※「達成している」を選んだ場合、⑥ に進んでください。	□ 評価対象外事項							
性	③民営化で目的を達成できるか?	□ 可能性はある	当該施設は、農業の活性化や振興に資する施設であり、公共性が高く市が整備すべき施設と考えられる。						
	※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。	☑ 可能性はない							
	(民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	□ 評価対象外事項							
		☑ 現状のままでよい	この事業は、農村と都市との交流拠点施設を整備するものであるので、対象は市民(農家、都   市住民)、観光者。						
	④「対象」・「意図」の設定は現 状のままで良いか?	□ 見直す必要がある							
		□ 評価対象外事項							
		□ 有効性向上の可能性がある	国の都市再生整備計画事業として、交付要綱に基づく整備計画を定め、年度計画により事業を実施しており難しい。						
	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか? 可能性がある場合は、⑤-2,	□ 効率性向上の可能性がある							
	3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記	□ 両方可能性がある							
	入する。 	☑ 可能性がない							
有	⑤ー2 右効性や効率性を向上さ	□ 民間委託等							
	有効性や効率性を向上させる手段は何か? 該当する手段を選択し、	□ 再任用職員及び臨時的任用職員等 の活用							
効 率 性	具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」	□ IT化等の業務プロセスの見直し							
性	である場合は、該当する類似事業を記入する。	□ 受益者負担の見直し							
		□ 類似事業との統合・役割見直し	類似 1 実施主体 (所管部署)						
		□ 上記以外の方法	事業     実施主体       名称     2						
	⑤-3 推進にあたっての課題はあ	□ ある							
	るか?(一時的な経費増・市 民の理解等)	口ない							

٦-	ード 4096 事務事業名科	農業の郷整備事業				所属名	農政課			
		□改革・改善して	て継続	平成22年度より を図る。	) 26年度の交付金事業とし	て整備を達	進めており,	年度計画に基づき事業の進捗		
	⑥この事務事業の今後の方向性を 択し、その詳細について右欄に記え		太大・縮小							
今	する。	廃止・休止								
後の		事業完了								
方向性		☑ 現状のまま継続	続							
			経	費	計画年度に合わせ、工事	を実施する	る。			
			削減不	変 増 加						
	⑦この事務事業の今後の経費・成果 の方向性について選択し、右欄にま 由を記載する。									
	一田で記載りる。 一	不変		a						
		低下								
			-	<u>'</u>						
こ <i>の</i> ※内	)事務事業に対する市民や議会の意見 内部サービス業務の場合は、住民では	(担当者が把握してし なく、サービス利用者	いる意見) 者、関連部門の	意見や実態など						
ふる 効率	(仮称) 観光交流センター(島田側)と,新川を挟んだ,ふるさとステーション(米本側)を結ぶ橋の必要性について。 ふるさとステーションとの重複機能(農産物の販売等)の必要性について。 効率的な施設の運営について。 施設整備内容の周知不足について。									
所属長コメント	属 長 コ メ メ									
	□ 改革改善して継続	旦当課の評価のとおり	),現状のままん	継続とする。						
評価調整委	<ul><li>□ 手法プロセスの改革・改善</li><li>□ 事業規模の拡大・縮小</li><li>□ 統合・役割見直し</li><li>□ その他</li></ul>									
委員会	原止・休止									
評価	□ 事業完了									
بسرا	☑ 現状のまま継続									